

## 令和3年度 幼児教育推進リーダー育成研修の様子

### 【開講式】

#### ○日時、会場等

日時：令和3年5月26日（水）

会場：富山県総合教育センター

#### ○概要

##### （1）講義「幼児教育推進リーダーに期待される役割」

講師 富山短期大学 教授

石動 瑞代 氏



実際に保育の現場に向いて現場の課題や悩みに応える推進リーダーの、支援者としての役割や支援の視点、支援に必要な力について、図などを活用して分かりやすくお話いただいた。

##### （2）説明・連絡

- ・幼児教育センターの取組み
- ・訪問研修の実際について
- ・幼児教育推進リーダー育成研修について

#### ○受講者の声

- ・「訪問園ファースト」を軸に、保育現場をリーダーとアドバイザーが多様な視点で支援していく方法はとてもよいと思う。
- ・（推進リーダー育成の仕組みは）必要であり大切なことである。みんなで質の高い教育・保育を模索していきたい。保育の質の向上を目指すことが、何より子どもにとっての幸せにつながる。
- ・対話を通して、相手（訪問園・所）も自分も気づきがあり、互いに向上していくことが分かった。

### 【訪問研修の実際と保育場面における子ども理解】

#### ○日時等

日時：令和3年8月19日（呉西地区）、9月3日（呉東地区）

開催方法：オンラインによる開催

#### ○概要

**研修1** （1）アドバイザーとスーパーバイザーの対談の聴講

～これまでの訪問研修を踏まえて～

（2）推進リーダーについての不安や悩みの共有や意見交換

**研修2** 生活や遊びの中での子ども理解（グループワーク）

「色水あそび」をしている子どもの写真をもとに、子ども理解、考えられる保育者の援助、子どもの姿を踏まえたアドバイスについてグループ協議を行った。

## ○受講者の声

- ・園で行っている保育に自信をもってもらうために、訪問研修では、子どもや職員の良いところ、園内だけでは気付かないところを具体的に伝えていくことが大切だと学んだ。
- ・園と一緒に考える伴走者としての役割、自身も学ぶという姿勢をもつことが大切だと気付いた。
- ・訪問研修での姿勢等は、自園の園内研修や同僚等の関わりでも大切なことだと思った。
- ・研修2では一枚の写真の見取りを通して、一人一人の見方や捉え方が違うことが分かった。いろいろな視点から保育を捉えることができるようになりたい。

## 【修了証交付及び講義等】

### 1 修了証交付等

○日時：令和4年2月7日（月） 開催方法：オンラインによる開催

#### ○概要

- (1) 幼児教育推進リーダー育成研修修了証交付
- (2) 研修 ①「学びを分かち合う訪問研修に」 幼児教育スーパーバイザーによる研修  
②推進リーダー育成研修の振り返り等（グループ協議）

センター長より修了者を呼名し、修了証交付に替えさせていただいた。研修では、スーパーバイザーの話をもとに、グループで思いを共有したり、育成研修での学びを振り返ったりしている様子が伺えた。

### 2 講義等

○日時：令和4年3月8日（火） 開催方法：オンラインによる開催

#### ○概要

講義 「園・所に気付きを促し、実践につなげるために」

講師 神戸大学大学院人間発達環境学研究所 教授 北野 幸子 氏

その園にある保育のよさを見付け、よりよい保育について、園や所と対話しながら共に考える姿勢が大切である。質疑応答では、訪問研修でのアドバイスの際の悩みに、具体的に答えていただいた。

## ○受講者の声

- ・スーパーバイザーより、訪問研修の姿勢として「教える人、教えられる人という関係を作らない」と聞き、共に考え、共に学ぼうとする心もちが大事であることが再確認できた。
- ・グループでの話し合いでは、他の推進リーダーが、訪問研修への参加を通して自園の問題点について考え直したり、訪問先の園のよいところを自園に取り入れたりしていることが分かった。
- ・実践を積み重ねていく大切さを実感した。園や所に気付きを促すポイントも見えてきた。
- ・訪問研修では、訪問した園や所の保育者自身が気付くことができないよさを見付け、保育をさらによくするために一緒に考えていくことができたらと思った。